

SUMIRE YOSHIHARA PERCUSSION RECITAL 2023  
～SPECIAL FEATURE OF MASARU TANAKA～

# 吉原すみれ

パーカッションリサイタル 2023

作曲家

田中賢を語る



(C) 宮森博輔

## 【Program】(演奏順未定)

りんの歌 (1978)  
Song of Rin (1978)

始原太鼓IV (2023) [世界初演]  
SHIGENDAIKO IV (2023) [World Premiere]

こころの庭で・・・ (2020)  
in Garten, in dem Herzen・・・ (2020) 共演：菅原 淳 (パーカッション)

悲しみよ、怒りよ、苦しみ—君も?—マリンバ ソロのために～ (2023) [世界初演]  
"sadness, anger, and suffering...do you it, too?"～for Marimba solo～ (2023) [World Premiere]

エコーフロムサウス (1979)  
Echo from South (1979)



作曲：田中 賢



2023年 11月2日 [木] 開演 19:00 (開場 18:30) 東京文化会館小ホール  
全席自由 一般 4,000円/学生 2,000円 (JR上野駅公園改札正面)

### 【チケット取扱】

東京コンサーツ

- ・オンラインチケットサービス <https://confetti-web.com/TOKYO-CONCERTS>
- ・電話予約(カンフェティチケットセンター) TEL.0120-240-540 (受付時間 平日10:00～18:00 オペレーター対応)

東京文化会館チケットサービス TEL.03-5685-0650 <https://www.t-bunka.jp/>

### 【お問い合わせ】

東京コンサーツ TEL.03-3200-9755 (10:00～18:00/平日のみ)

主催：吉原すみれ マネジメント：東京コンサーツ



東京生まれ。幼少の頃より、工藤昭二のマリンバのレッスンを受ける。高校入学時より、打楽器を小宅勇輔に師事。東京藝術大学に入学し、打楽器一般を有賀誠門、マリンバを高橋美智子に師事。

1972年東京藝術大学大学院在学中に、ジュネーヴ国際コンクール打楽器部門で優勝。同時に各部門のグランプリであるブリ・アメリカン賞も受ける。以後、ヨーロッパ、日本を中心にソロ活動が続ける。

1977年ミュンヘン国際コンクールで1位なしの2位。ソロ・レコードがRCAより全世界に発売される。

1979年より85年までカメラータ・レーベルにて5枚のソロ・アルバム（吉原すみれ・打楽器の世界1-5）を制作。

1980年サントリー音楽賞受賞。アルバム「吉原すみれ・打楽器の世界1」において芸術祭優秀賞受賞。

アンサンブル・ヴァン・ドリアン、トライアングル・ミュージック・ツアーなどアンサンブル活動も行い、アンサンブル・ヴァン・ドリアン団員として1983年中島健蔵賞受賞。1986年立花隆の制作録音によるCD「とぎれた闇」を発表。1986-93年CBSソニーで4枚のソロCDと1枚のデュオCD（笛の藤舎推峰との「デュエル」）を制作。1991・97年ミュンヘン国際コンクール、1992年ジュネーヴ国際コンクール、審査員。

1993年ニューヨークにてミュージック・フロム・ジャパン公演。97年「打楽器通信」、2002年「打楽器通信2」（フォンテック）CDリリース。

2002年第20回中島健蔵音楽賞優秀賞を受賞。2004年第13回朝日現代音楽賞受賞。アンサンブルタケミツ、メンバー。武蔵野音楽大学教授。相愛大学客員教授。



吉原 すみれ (パーカッション)  
YOSHIHARA SUMIRE, PERCUSSION

## 田中 賢 (作曲) TANAKA MASARU, COMPOSITION



新潟県長岡市生まれ。東京音楽大学附属高校を経て同大学作曲科を卒業。作曲を南弘明氏、保科洋氏に、指揮を秋山和慶氏に師事。尹伊桑氏の招待によりベルリン芸術大学作曲科に留学、作曲を尹伊桑氏に師事。ガウデアムス国際作曲コンクール第3位、ヒッツァーカー作曲コンクール第1位、シュトゥットガルト作曲コンクール第1位受賞。

作品は、オーケストラ、室内楽、吹奏楽、合唱、映像音楽など多岐にわたり、“ワルシャワの秋” “ベルリン音楽週間” “パリの秋” 等の国際音楽祭、“科学万博つくば” “日本国際博覧会（愛・地球博—2005年）” “では「悠久の時を超えて」—正倉院復元楽器と声明のために— 2008年カーネギーホールに於いて「鳳凰は遍くを翔け」—正倉院復元楽器と声明のために— 一等が演奏され、内外で好評を得ている。また、長野冬季オリンピック、第6回ワールドゲームズの委嘱をはじめ、全国植樹祭、国民体育大会など、式典音楽の作曲・編曲、音楽アドバイザーも務める。

元札幌大谷大学芸術学部作曲科教授。



## 菅原 淳 (パーカッション) SUGAHARA ATSUSHI, PERCUSSION



大阪生まれ。東京藝術大学卒業。フランス政府給費留学生として、パリ・コンセルバトワールに留学。

74年、ラ・ロッシェル国際打楽器コンクール第1位。グループ「3マリンバ」、アンサンブル「ヴァン・ドリアン」を結成、作曲家に曲を委嘱し、数多くの日本初演をする。

80年、パリで行われた国際打楽器コンクールの審査員を務める。

83年、中島健蔵音楽賞を受賞。平成7年度文化庁芸術祭優秀賞を受賞。

99年、朝日現代音楽賞を受賞。CD「菅原淳/木と皮の鼓動」「花と星」をリリース。

打楽器アンサンブル「パーカッション・ミュージアム」と「パーカッション・ギャラリー」の主宰。38年間、読売日本交響楽団で主に首席ティンパニ奏者を務めた。

現在、東京音楽大学客員教授、昭和音楽大学客員教授。神戸市室内管弦楽団団員。